

機関番号	研究種目番号	応募区分番号	中区分	整理番号
		—		

令和XX(XXXX)年度 挑戦的研究（萌芽） 研究計画調書

令和 XX 年XX月XX日
1版

研究種目							
中区分							
研究代表者 氏名	(フリガナ)						
	(漢字等)						
所属研究機関							
部 局							
職							
研究課題名							
研究の要約							
研 究 経 費 〔千円未満の 端数は切り 捨てる〕	年度	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)				
			設備備品費	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
	総計						
開示希望の有無							

研究組織（研究代表者及び研究分担者）

氏名（年齢）		所属研究機関 部署 職	学位 役割分担	令和XX年度 研究経費 (千円)	エフ ォ ー ト (%)
合計 名			研究経費合計		

1 研究目的及び研究方法、応募者の研究遂行能力

本研究種目は審査区分表の「中区分」で審査される。記述に当たっては広い分野構成で多角的視点から審査が行われることに注意すること。

- ① 本研究の目的
- ② その研究目的を達成するための研究方法（研究体制（「研究組織」にある研究者及び研究協力者のそれぞれの役割）を含む）
- ③ 応募者の研究遂行能力（これまでの研究活動（主要な研究業績を含む）の具体的な内容等必要に応じて今回の研究構想に直接関係しないものを含めてもよい。また、国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等がある場合には必要に応じてその内容を含めること。）

について、2頁以内で焦点を絞って具体的かつ明確に記述すること。

研究計画調書作成に当たって留意すること

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

留意事項①：

1. 本研究種目は、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させる潜在性を有する挑戦的研究を募集するものである（挑戦的研究（萌芽）については、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画も対象としている）。応募に当たっては自身の研究計画がその趣旨に沿ったものであるかを十分に確認すること。

＜対象となる「挑戦性」を有する研究の例＞

- ・斬新な発想に基づき、人々の好奇心を掻き立てるような研究
- ・新しい原理や学理の発見に繋がる可能性を有する研究
- ・学術の概念や体系の見直しに繋がる可能性を有する研究
- ・大きな発想の転換や斬新な方法論等の導入に繋がる可能性を有する研究
- ・既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成に繋がる可能性を有する研究

2. 挑戦的研究（萌芽）は審査区分表の中区分により、広い分野の委員構成で多角的視点から審査が行われることに留意の上、研究計画調書を作成すること。
3. 挑戦的研究（萌芽）では、様式S-42-1（「研究計画調書の概要」欄）に研究計画調書（Web入力項目）の前半部分を加えた「研究計画調書（概要版）」のみによる事前の選考を行う（応募件数が少ない審査区分では、事前の選考は行わない）。
4. 書面審査では、様式S-42-1（「研究計画調書の概要」欄）は参照できないため、様式S-42-1（「研究計画調書の概要」欄）と本様式は独立に作成する必要がある。例えば、様式S-42-1（「研究計画調書の概要」欄）に載せた図を本様式で引用することはできないため、必要な図はそれぞれに記載すること。

留意事項②：

1. 作成に当たっては、研究計画調書作成・記入要領を必ず確認すること。
2. 本文は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。
3. 各頁の上部のタイトルと指示書きは動かさないこと。
4. 指示書きで定められた頁数は超えないこと。なお、空白の頁が生じていても削除しないこと。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

【1 研究目的及び研究方法、応募者の研究遂行能力（つづき）】

2 挑戦的研究としての意義（本研究種目に応募する理由）

本研究種目は、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させる潜在性を有する挑戦的研究を募集するものである。

- ① これまでの研究活動を踏まえ、この研究構想に至った背景と経緯
- ② 学術の現状を踏まえ、本研究構想が挑戦的研究としてどのような意義を有するか、探索的性質の強い、あるいは芽生え期の研究計画である場合には挑戦的研究としての可能性を有するか

について1頁以内で記述すること。

3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1 頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

[illegible]

設備備品費、消耗品費の必要性

挑戰的研究（萌芽）6－（ ）
（金額單位：千円）

[illegible]

※ 本欄はPDFファイルには出力されません

Japanese → English

令和X(20XX)年度 XXXXXXXXXX 研究計画調書

【研究費の応募・受入等の状況】

- 「役割」、「研究経費」、「エフォート」のリンクをクリックすることで、応募中の研究費または受入予定の研究費の一覧を指定したソート順に並び替えることができます。

研究代表者氏名	〇〇 〇〇
研究期間	20XX年度～20XX年度
研究課題名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

（１）応募中の研究費

役割	1.資金制度・研究費名（配分機関名） 2.研究期間 3.研究課題名 4.研究代表者氏名	20XX年度 研究経費 （期間全体的 千円）	20XX年度 エフォート （%）	研究内容の相違点及び 他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等 （左記の研究課題を応募するに当たっての所属組織・役職） （科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること）
代表	1.【本応募研究課題】XXXXXXXXXXXX	X,XXX,XXX	XX%	総額 X,XXX,XXX千円
	2.20XX年度～20XX年度			
	3.○○○○○○○○○○	(X,XXX,XXX)		
	4.○○ ○○			
分担	1.○○○○○○○	X,XXX,XXX	XX%	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 左記の研究課題を応募するに当たっての所属組織・役職： ○○○○○○○
	2.20XX年度～20XX年度			
	3.○○○○○○○○○○	(X,XXX,XXX)		
	4.			
				総額 - 千円

(2) 受入予定の研究費

役割	1.資金制度・研究費名（配分機関名） 2.研究期間 3.研究課題名 4.研究代表者氏名	20XX年度 研究経費 (期間全体額) (千円)	20XX年度 エフオート (%)	研究内容の相違点及び 他の研究費に加えて本応募研究課題に応募する理由等 (左記の研究課題を受入れるに当たっての所属組織・役職) (科研費の研究代表者の場合は、研究期間全体の受入額を記入すること)
代表	1.○○○○○○○	X,XXX,XXX	XX%	○○○○○○○○○○○○○○○ 左記の研究課題を受入れるに当たっての所属組織・役職： ○○○○○
	2.20XX年度～20XX年度			
	3.○○○○○○○○○○○	(X,XXX,XXX)		
	4.			総額 X,XXX,XXX千円
分担	1.○○○○○○○	X,XXX,XXX	XX%	○○○○○○○○○○○○○○○ 左記の研究課題を受入れるに当たっての所属組織・役職： ○○○○○
	2.20XX年度～20XX年度			
	3.○○○○○○○○○○○	(X,XXX,XXX)		
	4.○○ ○○			総額 - 千円

(3) e-Rad外の研究費

契約の種類	1.相手機関（相手機関の国名） 2.制度名 3.研究期間	研究課題名	予算額	エフォート（%）	機密保持契約締結有無
助成金	1.〇〇〇（〇〇）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	XX,XXX〇〇	X%	有
	2.〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
	3.20XX年X月～20XX年X月				
その他の研究費	1.〇〇〇（〇〇）	〇〇〇〇〇〇〇〇	XXX,XXX〇〇	XX%	無
	2.〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
	3.20XX年X月～20XX年X月				

(4) 兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む現在のすべての所属機関・役職

(兼業や、外国の人材登用プログラムへ参加、雇用契約のない名誉教授を含む) 現在のすべての所属機関・役職	相手機関の所在地
○○○○○○○○○○ ○○○○ ○○	○○
○○○○ ○○○○○○○ ○○○○	○○

(4)、(5) その他の活動の effort の合計	XX%
(1)、(2)、(3) の effort の合計	XX%

閉じる